

おかあさんの被爆ピアノ



Introduction

昭和20年8月6日18時15分…

広島に投下された一発の原子爆弾。
街と共に一瞬にして消えたたくさんの命。

そうした壊滅的な状況の中で
奇跡的に焼け残ったピアノ。被爆ピアノ…
それを託された広島の調律師・矢川光則さんは、
修理・調律、自ら4トントラックを運転して
全国に被爆ピアノの音色を届けて回ること。

「80年経って被爆体験者は段々いなくなっていて、
あと10年したら殆どいなくなる。けれど、被爆ピアノ
は、その音色でずっと原爆のことを伝えていくこと
が出来る」と矢川さん。

被爆から80年を迎える今、
ピアノの音色で被爆の記憶を伝えていきます。



「世代を超えて伝えられるメッセージと調べ。
忘れてはいけない大切な想い。
沢山の若者たちに観てもらいたい。
心が優しくそして強くなる映画だ。」
プロデューサー
タケノコ記念国際高等学校 校長
三浦雄一郎

被爆から80年

蘇った音色が語りかける

映画公式X



昭和20年8月6日に広島で被爆したピアノを持ち主から託された調律師・矢川光則(はなづかみつね)。彼自身も被爆二世。

爆心地から3キロ以内で被爆したピアノは被爆ピアノと呼ばれる。
矢川は、現在数台の被爆ピアノを託され修理、調律して、それを自ら運
転する4トントラックに載せて全国を回っている。

東京で生まれた江口素子(えぐちすこ)は大学で幼児教育を学び幼稚園
園教師を勤めているものの将来について漠然としている。

被爆ピアノの一台を母・久美子(くみこ)が寄贈していたことを知った
素子は、被爆ピアノコンサートに行き、矢川と出会う。矢川を通して被
爆ピアノ、広島のことを考えるようになり、祖母のことを知るうちに自身の
ルーツ探しをしていく。

母・久美子は どうして広島から出て行ったのか?
祖母・千恵子(ちえ子)が素子に伝えたかったことは?
調律師・矢川がなぜ被爆ピアノを伝える活動をしているのか?
素子はルーツを辿り、被爆ピアノの活動を辿りながら次第に何かを見
つけていく…。

Story



戦後80年目、被爆から80年、自分を含めて今社会
を担っている大人たちの殆どが戦後生まれになって
います。戦争を知らない世代は平和を当たり前のよう
に享受してきました。しかし、当たり前のと思っていた
平和は当たり前ではないことをここ数年の東日本地
震の不安、国内で度々起こる災害などから強く
感じるようになりました。/ 今更ながら平和をとほ
とほ維持しようと思いついていないと平和ではなくな
ってしまうのではないかと思うようになっていました。そ
のためには僕らが後進の若い人たちに語り継がなくて
はいけないと強く思うようになりました。そのきっかけ
は11年前に被爆ピアノのドキュメンタリー番組をつ
くって頂いたことでした。取材をさせて頂くうちに原
爆が落とされたことや平和について考えるきっかけ
になるような映像をつくりたいと思いました。忘れな
いこと、記憶し続けること、そして伝えていくこと、そう
したことを思い起こして頂くような映像になっていまし
たら本望です。(監督 五藤利弘)

上映の詳細は公式Xをご覧ください。x.com/hibakupiano



7/11(金)12(土)13(日)

10:30
英語字幕
English subtitles

15:10
バリアフリー
日本語字幕

各国上映後舞台挨拶

7/15(火)16(水)17(木)

14:30
バリアフリー
日本語字幕

7/18(金)19(土)20(日)

13:10
バリアフリー
日本語字幕

21(月)英語字幕
English subtitles

休映

14(月)

7/21(月)23(水)24(木)

22(火)

東京都写真美術館ホール

〒153-0062 東京都目黒区三田1-15-3 東京都写真美術館3F
東宝映画館/各国定員入替制/立ち見不可/事前予約不可

TEL: 03-3280-0099 (代表)

JURL: www.topmuseum.jp

恵比寿ガーデンプレイス

星 渋谷

実況

動く通路

JR恵比寿駅

日比谷線恵比寿駅 1番出口

TOP MUSEUM